Area Design
Promotion Headquarters
まち×デザイン＝未来

竹の塚エリアデザイン
まちづくりの基本的な考え方

竹ノ塚駅の東西一体
人が主役のまちづくり

「住み続けたい」と思う人や「まちへの愛着」「人に勧めたい」などプラスイメージを持つ人を増やすため、地域に根差した「場づくり」や「活動づくり」により、地域に住み暮らす人が主役となるまちづくりに取り組みます。

まずは 北の玄関「竹の塚」にふさわしい まちの顔づくり

駅前は「竹の塚」を印象づける「まちの顔」です。
人が集まる場や活動が生まれる駅前を目指します。

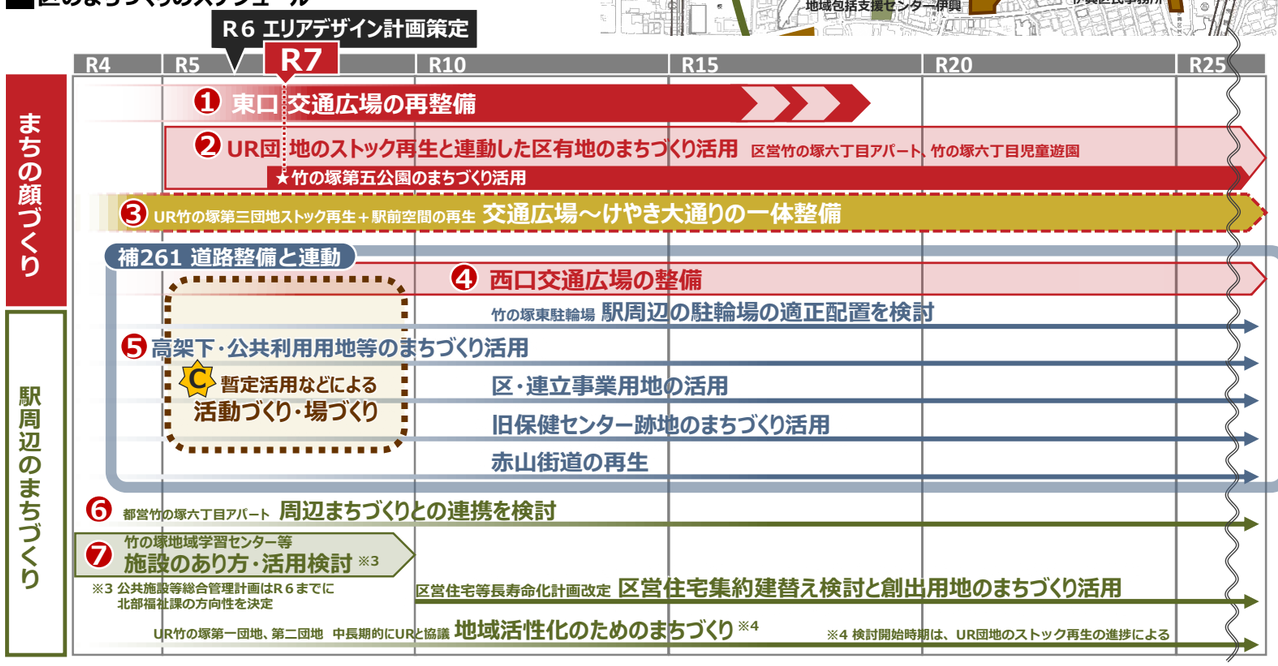
1 駅前空間の再生
ＵＲ竹の塚第三団地ストック再生(※1)と連携し、**駅東西の交通広場を一体的に整備**。

2 ウォーカブルなまちづくり
まちの回遊性を向上させるため、駅前、けやき大通り、高架下などに**にぎわいを創出**。

3 タウンマネジメント(※2)の推進
地域のプレイヤーを発掘・支援し、**持続的かつ自立的に活動できる組織づくり**を目指す。

※1 管理開始から40年以上経過する団地について、高経年化に対応するため、建替え、集約、用途転換、改善の４つの手法を用いて地域及び団地ごとの特性に応じた活用を行うことです。
※2 良好な環境や地域の価値を維持・向上させる地域の住民、企業、地権者などによる主体的な取組みです。

■区のまちづくりのスケジュール



令和４年度から 体感治安の改善に向けて

① ビューティフルウィンドウズ運動の強化！
② 「客引き防止条例※」の施行（Ｒ5.4.1～）
③ 自転車運転のマナーアップ
※「足立区客引き行為等の防止に関する条例」




プラスイメージの創出

① 「まちづくりラボ・プロジェクト」始動 A
（ＵＲ都市機構と足立区、R5.1.19～）
② 駅周辺の区有地等の活用 2 C
③ 高架下空間の活用 5 B

2023年3月時点
足立区 政策経営部 エリアデザイン推進室

A まちづくりラボ・プロジェクト
拠点施設「ミントポ」



B 東武鉄道
竹ノ塚駅周辺高架下商業施設プロジェクト



イメージパース提供：東武鉄道株式会社

区営住宅集約建替え検討と創出用地のまちづくり活用

補261 道路整備にあわせた まちづくり活用

5 高架下・公共利用用地等 まちづくり活用

北の玄関「竹の塚」にふさわしい まちの顔づくり



写真提供：独立行政法人都市再生機構

公園の誘致圏空白地域の解消
都市計画公園に位置付け

6 都営竹の塚六丁目アパート創出用地 周辺まちづくりとの連携を検討

竹の塚東駐輪場 駅周辺の駐輪場の適正配置を検討

2 UR団地のストック再生と連動した区有地のまちづくり活用
- 竹の塚第五公園（約1,700㎡）
- 竹の塚六丁目児童遊園（約600㎡）
- 区営竹の塚六丁目アパート（約3,000㎡）

赤山街道の再生

7 施設のあり方・活用検討

UR団地のストック再生 ＋ 駅前空間の再生
交通広場～けやき大通りの一体整備



写真提供：独立行政法人都市再生機構

中長期的にURと協議 地域活性化のためのまちづくり

凡例
- ＵＲ団地
- 都営住宅
- 区営住宅
- 公園
- 公共施設等

※写真はすべてイメージです
特記なき写真の出典は足立区

この地図は、東京都知事の承認を受けて、東京都縮尺2,500分の1地形図を利用して作成したものである。（承認番号）4都市基交著第46号